

第35回定時株主総会招集ご通知に際しての インターネット開示事項

連 結 注 記 表

個 別 注 記 表

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

株式会社クイック

「連結注記表」および「個別注記表」につきましては、法令および当社定款第16条の規定に基づき、当社ウェブサイト (<http://919.jp/>) に掲載することにより、株主の皆さまに提供しております。

連結注記表

1. 連結計算書類の作成のための基本となる重要な事項に関する注記等

(1) 連結の範囲に関する事項

① 連結子会社の状況

イ. 連結子会社の数

5社

ロ. 連結子会社の名称

株式会社アイ・キュー
株式会社カラフルカンパニー
株式会社キャリアシステム
QUICK USA, Inc.
上海クイック有限公司

なお、平成26年7月7日付で株式会社カラフルカンパニーは、株式会社ケー・シー・シーから商号を変更しております。また、平成27年3月3日付で上海クイック有限公司は、上海クイックマイツ有限公司から商号を変更しております。

② 非連結子会社の状況

イ. 非連結子会社の名称

QUICK VIETNAM CO., LTD.

ロ. 連結の範囲から除いた理由

非連結子会社は小規模であり、かつ総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法の適用に関する事項

持分法適用会社はありません。なお、持分法を適用していない非連結子会社（QUICK VIETNAM CO., LTD.）は、当期純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。

(3) 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、QUICK USA, Inc. 及び上海クイック有限公司の決算日は12月末日であります。

連結計算書類の作成にあたっては、決算日現在の計算書類を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(4) 会計処理基準に関する事項

① 重要な資産の評価基準及び評価方法

その他有価証券

イ. 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

ロ. 時価のないもの

移動平均法による原価法

② 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ. 有形固定資産

（リース資産を除く）

建物（附属設備を除く）

定額法、但し一部連結子会社定率法

その他

定率法、但し一部連結子会社定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 8年～65年

器具及び備品 4年～10年

ロ. 無形固定資産

定額法

（リース資産を除く）

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（2～5年）に基づいております。

ハ. リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

③ 重要な引当金の計上基準

イ. 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

ロ. 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

ハ. 役員賞与引当金

役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

ニ. 返金引当金

紹介手数料に対する将来の返金に備えるため、売上額に返金実績率を乗じた金額を計上しております。

④ その他連結計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 表示方法の変更に関する注記

(連結損益計算書)

前連結会計年度まで「販売費及び一般管理費」に含めて表示しておりました「発送費」(前連結会計年度289,542千円)を、当連結会計年度より「売上原価」(当連結会計年度295,520千円)に含めて表示する方法に変更しております。この変更は、当社連結子会社である株式会社カラフルカンパニーのシステム統合化及び変更を契機として、各部門の業務内容の見直しを実施し、役務収益に対する個別原価性が高い「発送費」を「売上原価」として表示することが、発送業務部門の実態をより適切に反映されるために行っております。

3. 連結貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産	建物及び構築物	143,766千円
	土地	226,549千円
	計	370,315千円

② 担保に係る債務	短期借入金	171,002千円
	1年内返済予定の長期借入金	11,702千円
	計	182,704千円

上記、建物及び構築物・土地に設定した担保は根抵当権であり、その極度額は670,000千円であります。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 684,715千円

4. 連結株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首の株式数	当連結会計年度増加株式数	当連結会計年度減少株式数	当連結会計年度末の株式数
普通株式	19,098千株	— 千株	— 千株	19,098千株

(2) 自己株式の数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首の株式数	当連結会計年度増加株式数	当連結会計年度減少株式数	当連結会計年度末の株式数
普通株式	310千株	— 千株	— 千株	310千株

(3) 剰余金の配当に関する事項

① 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成26年6月20日 定時株主総会	普通株式	150,300千円	8.00円	平成26年3月31日	平成26年6月23日
平成26年10月31日 取締役会	普通株式	225,451千円	12.00円	平成26年9月30日	平成26年12月1日

② 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生在翌連結会計年度になるもの

決議予定	株式の種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成27年6月19日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	169,088千円	9.00円	平成27年3月31日	平成27年6月22日

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社グループは、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達しております。

受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信限度管理規程に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券は主として株式であり、上場株式については四半期ごとに時価の把握を行っております。借入金の使途は主として運転資金であります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成27年3月31日(当期の連結決算日)における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	連結貸借対照表 計上額 *	時価 *	差額
(1) 現金及び預金	3,151,376	3,151,376	—
(2) 受取手形及び売掛金	1,515,627	1,515,627	—
(3) 投資有価証券 その他有価証券	521,213	521,213	—
(4) 敷金	303,159	302,638	△520
(5) 買掛金	(615,033)	(615,033)	—
(6) 短期借入金	(192,102)	(192,102)	—
(7) 1年内返済予定の長期借入金	(11,702)	(11,702)	—
(8) 未払金	(437,699)	(437,699)	—
(9) 未払法人税等	(354,796)	(354,796)	—

* 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 投資有価証券

投資有価証券の時価について、株式は取引所の価格によっております。

(4) 敷金

敷金の時価については無リスクの利子率で割り引いた金額によっております。

(5) 買掛金、(6) 短期借入金、(7) 1年内返済予定の長期借入金、(8) 未払金並びに(9) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 非上場株式等(連結貸借対照表計上額14,862千円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(3) 投資有価証券
その他有価証券」には含めておりません。

6. 賃貸等不動産に関する注記

該当事項はありません。

7. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	211円09銭
(2) 1株当たり当期純利益	52円61銭

8. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

9. その他の注記

(資産除去債務に関する注記)

資産除去債務のうち連結貸借対照表に計上しているもの

(1) 当該資産除去債務の概要

事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

(2) 当該資産除去債務の金額算定方法

使用見込期間を当該契約の期間及び建物の耐用年数(主に50年)と見積り、割引率は当該使用見込期間に見合う国債の流通利回り(0.529%~2.266%)を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

(3) 当連結会計年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	29,091千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	741千円
時の経過による調整額	597千円
資産除去債務の履行による減少額	△36千円
期末残高	30,394千円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

① 子会社株式

移動平均法による原価法

② その他有価証券

イ. 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

ロ. 時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

（リース資産を除く）

建物（附属設備を除く）

その他

定額法

定率法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 8年～39年

器具及び備品 5年～10年

② 無形固定資産

（リース資産を除く）

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（2～5年）に基づいております。

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

③ リース資産

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

③ 役員賞与引当金

役員の賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

④ 返金引当金

紹介手数料に対する将来の返金に備えるため、売上額に返金実績率を乗じた金額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産

建	物	22,431千円
土	地	96,380千円
計		118,811千円

② 担保に係る債務

短期借入金	66,000千円
1年内返済予定の長期借入金	11,702千円
計	77,702千円

上記、建物・土地に設定した担保は根抵当権であり、その極度額は470,000千円であります。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額

202,436千円

- (3) 偶発債務
債務保証
以下の関係会社の金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。
株式会社カラフルカンパニー 118,102千円
- (4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務
- ① 短期金銭債権 124,198千円
- ② 短期金銭債務 83,741千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

- ① 売上高 2,073千円
- ② 仕入高 34,978千円
- ③ 販売費及び一般管理費 15,999千円
- ④ 営業取引以外の取引高
- 受取配当金 55,380千円
- 受取指導料等 124,634千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	310千株	－千株	－千株	310千株

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産（流動）	
賞与引当金	66,073千円
未払社会保険料	10,819千円
未払事業税	24,698千円
未払事業所税	2,636千円
返金引当金	5,877千円
その他	9,214千円
繰延税金資産（流動）合計	119,320千円
繰延税金資産（固定）	
減価償却費超過額	9,582千円
関係会社株式評価損否認	6,978千円
投資有価証券評価損否認	2,552千円
資産除去債務	9,223千円
その他	4,724千円
繰延税金資産（固定）小計	33,060千円
評価性引当額	△13,960千円
繰延税金資産（固定）合計	19,100千円
繰延税金負債（固定）	
その他有価証券評価差額金	△114,540千円
資産除去債務	△5,980千円
繰延税金負債（固定）合計	△120,520千円
繰延税金負債（固定）純額	△101,420千円

6. リースにより使用する固定資産に関する注記

- (1) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引
「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）の適用初年度開始前のリース取引はありません。
なお、貸借対照表に計上した固定資産のほか、車両及び事務機器等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約（300万円未満のものがあります）により使用しております。
- (2) オペレーティング・リース取引
オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料
- | | |
|-----|-----------|
| 1年内 | 160,297千円 |
| 1年超 | 187,013千円 |
| 合計 | 347,310千円 |

7. 関連当事者との取引に関する注記
子会社等

種類	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有)割合	取引内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	株式会社アイ・キュー	所有 直接100.0%	資金の借入(注)1 利息の支払(注)1 経営指導料の受取 (注)2,4	160,000千円 586千円 26,400千円	短期借入金 — 未収入金	80,000千円 —千円 2,376千円
子会社	株式会社カラフルカンパニー	所有 直接100.0%	資金の貸付(注)1 利息の受取(注)1 経営指導料の受取 (注)2,4 債務保証(注)3	80,000千円 439千円 46,800千円 118,102千円	短期貸付金 — 未収入金 —	40,000千円 —千円 4,212千円 —千円
子会社	株式会社キャリアシステム	所有 直接100.0%	経営指導料の受取 (注)2,4	50,400千円	未収入金	4,536千円

- (注) 1. 子会社からの資金の借入及び子会社に対する資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
2. 経営指導の金額については、グループ会社経営管理のための当社の必要経費を基準としております。
3. 株式会社カラフルカンパニーの銀行借入につき、債務保証を行ったものであり、保証料は受領していません。
4. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

8. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 193円68銭
(2) 1株当たり当期純利益 48円98銭

9. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

10. その他の注記

(資産除去債務に関する注記)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

(1) 当該資産除去債務の概要

事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

(2) 当該資産除去債務の金額算定方法

使用見込期間を当該契約の期間及び建物の耐用年数(主に50年)と見積り、割引率は当該使用見込期間に見合う国債の流通利回り(0.529%~2.266%)を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

(3) 当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	27,325千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	741千円
時の経過による調整額	558千円
期末残高	<u>28,625千円</u>